

山折哲雄氏を花巻市名誉市民に推挙することに関し 花巻市議会9月定例会に提案します

本年6月に制定した花巻市名誉市民条例に基づき、日本における宗教学の第一人者である**山折哲雄氏**を花巻市名誉市民とすることに関し、議会の同意を求める議案を花巻市議会9月定例会に上程します。

花巻市名誉市民の制度は、市民ではないが市勢の発展又は市の名誉・名声の高揚に著しく貢献された方に対し、その功労に報いるとともに後世までその功績を顕彰するものです。

山折氏を名誉市民とすることについては、8月17日に開催した花巻市名誉市民選考委員会に諮問し、全会一致で諮問のとおり選考することで答申を受けております。

なお、花巻市名誉市民の決定は、市長が議会の同意を得て決定するものとされているため、議会の同意を得ることとするものです。

山折哲雄先生は、昭和18年に花巻市内の母親の実家に疎開してから昭和25年に岩手県立花巻高等学校を卒業するまで花巻にお住まいになられるなど花巻に縁の深い方であり、宗教学について日本の第一人者で、宮沢賢治や斎藤宗次郎の研究においても非常に識見をお持ちでありますことから、花巻市名誉市民として推挙させていただきました。

市議会の承認をいただいたうえで、山折先生に花巻市名誉市民第1号としてお引き受けいただくことは、花巻市としても極めて名誉であり、花巻市名誉市民としてご功績を永く伝えることにより、現在そして将来の子どもたちにとって大きな励みになるものと思っております。

山折哲雄氏について

氏名 山折哲雄

生年月日 昭和6年5月11日(87歳)

【経歴概要】

昭和6年 米国サンフランシスコにて出生
昭和12年 帰国
昭和18年 母親の実家(花巻市上町・専念寺)に疎開
昭和25年 岩手県立花巻高等学校卒業
昭和29年 東北大学文学部卒業
昭和34年 東北大学大学院博士課程修了、東北大学教養部非常勤講師
昭和36年 東北大学文学部助手
昭和37年 鈴木学術財団勤務
昭和44年 株式会社春秋社勤務
昭和47年 東京教育大学非常勤講師
昭和48年 都内の私立大学非常勤講師
昭和56年 国立歴史民俗博物館勤務
昭和62年 国際日本文化研究センター教授
平成8年 第1回宮沢賢治国際研究大会において記念講演
平成9年 国際日本文化研究センター名誉教授
平成12年 第2回宮沢賢治国際研究大会において記念講演
平成13年 国際日本文化研究センター所長
平成17年 国際日本文化研究センター所長 退任

名誉市民の要件への該当について(花巻市名誉市民条例第2条のすべてに該当することが要件)

(1) 花巻市内に居住していない方で、花巻市に縁故の深い方

→ 氏は現在、京都市に在住。

母の実家が当市上町の専念寺であり、山折氏自身も第2次世界大戦中に疎開し以後約6年間を花巻で過ごした。宮沢賢治の生家が近かったこともあり、賢治の作品に数多く触れる。

(2) 公共の福祉を増進し、又は文化・スポーツ等の振興に寄与した方

→ 山折氏は、国際日本文化研究センター教授を務め、宗教学者・評論家として、日本人の宗教観や心の問題について様々な提言を行い、文化の振興に寄与した。

平成17年、花巻市出身のキリスト教徒で宮沢賢治と交流のあった斎藤宗次郎の自叙伝『二荊自叙伝』の刊行に編集者として携わり、宮沢賢治と斎藤宗次郎の宗教観・人生観から現代の人々の生き方に対して持論を展開した。

(3) 市民から広く尊敬され、又は敬愛されている方

→ 日本経済新聞の連載「私の履歴書」に掲載される(平成30年3月)。

幼少期からの宮沢賢治作品等との関わりを通じて、賢治の世界観をたびたび紹介し、全国に知らしめることとなった。

平成8年及び平成12年に花巻市内で開催された「宮沢賢治国際研究大会」において講演いただいた。

市民憲章運動推進第53回全国大会花巻大会(9月1日開催)にて山折氏による記念講演

市民憲章運動推進第53回全国大会花巻大会において、山折哲雄氏による記念講演が行われます。

日 時 平成30年9月1日(土) 午後1時35分～

会 場 花巻市文化会館大ホール

演 題 「賢治の銀河宇宙とマコトのまちづくり」